委員会報告

常任委員会

総務常任委員会

2月に、平成27年度から取り組んでいた「倶知安町公共施設等総合管理計画」の素案が提示されました。本委員会として、逐条的に計画案の調査を行い、文言整理の他、総括担当課の明確化、他町村との広域的利用の検討などの提言を行いました。

40年間にわたる計画で、施設の長寿命化や総量の削減などが盛り込まれています。3月にパブリックコメントを経て計画が策定されました。

所管事項である「防災に関すること」に関連して、議会活性化特別委員会から引き継いだ「議会の災害対応」について調査・研究を行っています。

本町の地域防災計画には、議会の位置付けがされていません。災害発生時における議会としての行動指針や業務継続計画のあり方を先進地の事例を参考に検証を行っているところです。

厚生文教常任委員会

学校給食の安心・安全の拠点施設である倶知安町学校給食センターが2ケ年の工事期間を経て3月25日にオープニングセレモニーが行われ、多数の関係者が出席して完成を祝いました。式典終了後、試食会が行われ、児童・生徒への給食の安心・安全を確認し、4月6日から給食の調理が始まりました。

3月の第1回定例会で付託になりました、陳情第4号「安心・安全の医療の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書」の採択をもとめる陳情、陳情第5号「介護保険制度の見直しを求める意見書」の採択をもとめる陳情について陳情審査をすすめています。

学校給食センターのオープニングセレモニー

経済建設常任委員会

3月末日までの委員会活動では、主に地方売市場設置管理条例の改正に伴う使用料の減額について話し合われました。

施設の老朽化が進み、改修費用に2000万円以上かかると試算されている大型冷蔵・冷凍庫の故障リスクなどを抱えながら、施設更新できずにきました。

そのような状況に併せ、地方卸売市場を利用する仲買人と売り上げが減少し、公設市場のあり方を抜本的に見直すことを求めて来ました。

平成28年度、卸売市場政策研究所へ委託し作成された「倶知安町地方卸売市場の今後のあり方に関する報告書」により、今後の一定程度の方向性が示されたことと、市場の使用料の額を卸売金額の1000分の6の定めを、1000分の3に減額するべきとの倶知安町地方卸売市場運営委員会の答申、更には今後の施設更新シミュレーションが予算審査特別委員会でも提示されました。

使用料減額の条例改正案は本会議で議決されました。

特別委員会

議会活性化特別委員会

第1回定例会においてこれまで本委員会で検討してきた案件を実施いたしました。ひとつは、平成29年度の各会計の予算審議を、特別委員会を設置して行いました。一問一答方式で質疑回数の制限なしで行いましたので、密度の濃い審議となりました。

また、議会の会議規則を改正し、執行機関の町長等に「反問権」の付与を条文に追加しました。今後、緊張感のある審議が期待されます。

議会のICT化に向けて、まず、本会議場以外でのパソコンやタブレットなどの活用を試行することにしました。今後、議会活動活性化への活用の検証を進めて行きます。

昨年初めて開催した「議会報告会」を今年も町内6会場で行いました。昨年の反省点を踏まえて実施しています。詳細は、特集記事等で報告していきます。

まちづくり新幹線・高速道路等に関する特別委員会

3月末日までの委員会活動では、新幹線トンネル工事の土砂運搬に係る報告や、新幹線模擬高架橋雪害対策試験の概要報告、それらに併せ新幹線新駅に伴う駅前再開発に連動する様々な活動を行っている各団体の活動内容の報告などを受け、情報共有と課題共有を行っております。

特に今年度につきましては、春から始まるトンネル掘削工事に伴う土砂運搬への安全対策の徹底と近隣住民への説明を行うよう、関係各者に求めております。議会内のみならず、役場庁舎内の課をまたいだ情報共有の場としても、定期的に委員会を開催して参ります。

役場庁舎建設特別委員会

3月29日の特別委員会において、町長から役場庁舎建設基本構想（案）が示され、調査を進めています。

4月28日には、この構想（案）を概ね了承したところですが、了承するにあたっては、建設場所について住民説明会を開き、住民の意見を聞くよう求めたところです。

また、設計業者の選定方法については、今後も引き続き特別委員会で調査することとしました。

統合保育所に関する特別委員会

統合保育所の平成30年4月開所に向けての実施設計書が4月10日に完成し、説明を受けました。その後、人件費の基準変更に伴う総工費の増額が提案され、また木の温もりと優しさあふれる保育所にすべく「フローリング及び腰壁」を採用した設計変更により7230万円の増額補正予算が4月25日の第2回臨時議会で可決しました。総工費10億5000万円の予算となりました。この後は6月の上旬工事着工に向けて準備がすすめられます。

「倶知安町の新しい保育所を考える会」から陳情が提出され、第1回定例会において特別委員会に付託されました。趣旨は「民間のこども園の保育所以外の諸経費を現行の保育所と同程度にして欲しい」、「保育所及びこども園の送迎体制について」、「藤、めぐみこども園への土曜保育の実施要請」、「ワーキンググループの早期発足」の4点の陳情です。陳情審査の中で陳情者から陳情趣旨を聞き、次に福祉医療課より幼保再編に伴う2号認定者の認定こども園実費徴収負担分のシミュレーションの説明を受け審査をすすめています。

今後も慎重な審査を進めます。

統合保育所のイメージ図